

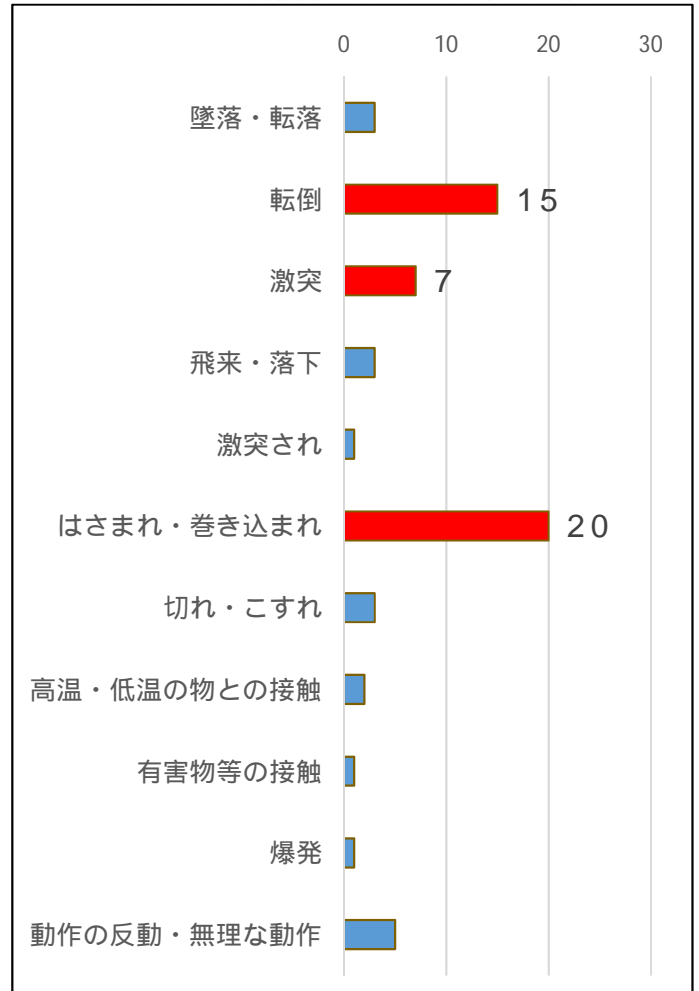
化学工業の労働災害を防止しよう！！

奈良県内の製造業で発生した労働災害は、全業種の中で最も多く、その中でも「化学工業」の労働災害は、製造業全体の労働災害の20%前後を占めています。「化学工業」で発生した労働災害の事故の型をみると、機械による「はさまれ・巻き込まれ」災害が一番多く、次に、通路や階段での「転倒」災害、そして狭い作業場所でのメンテナンス作業、または通行中の「激突」災害となっています。

労働災害発生状況（製造業）

	H27	H28	H29	H30	R1
食料品	61	58	65	67	66
繊維工業	4	3	5	3	6
衣服その他の繊維	9	7	12	7	7
木材・木製品	41	41	30	40	40
家具・装備品	13	13	8	3	6
パルプ等	16	13	11	11	19
印刷・製本	13	4	3	6	5
化学工業	50	51	74	62	61
窯業土石	5	10	4	8	10
鉄鋼業	9	11	8	7	13
非鉄金属	2	3	3	4	1
金属製品	44	41	40	59	57
一般機械器具	16	16	5	12	15
電気機械器具	6	5	12	5	7
輸送機械	6	5	7	8	5
電気・ガス	4	2	2	2	2
その他の製造	22	19	20	27	20
製造業小計	321	302	309	331	340
全産業合計	1260	1292	1251	1387	1350

事故の型別発生状況（令和元年）



労働災害の事例

はさまれ・巻き込まれ

ゴミを取ろうとして、機械を停止させず手を差し入れ、はさまれた。
ローラーが完全に停止していないのに、手を差し入れ、巻き込まれた。

激突

作業後に移動しようとしたところ、機械に頭をぶつけた。

転倒

エアースーツに足が引っ掛かり転倒した。
通路が暗く、足元のパレットに気付かず躓き転倒した。



1 「はさまれ・巻き込まれ」災害を防止しましょう！！

射出成型機機械で作業をする時は、次の事項に注意して使用しましょう 安全装置の有効保持

射出成形機の安全装置である、戸の開閉を検知するためのリミットスイッチは常に有効にし、必ず戸が閉じなければ同機械が作動しない状態で成形作業を行わせること。作業性が悪くなるからと言って安全装置の電源を切ったり、無効にして作業を行ってははいけません。

ロール機で作業する時は、次の事項に注意して使用しましょう 安全カバー等の設置

対向するローラーの隙間に、安全カバー若しくは安全柵を設置すること。

清掃作業等の安全確保

危険個所に身体の一部または全部を入れる場合には、ロールが完全に停止していることを確認してから作業すること。

共通事項

作業標準の作成と遵守

安全に作業を行うために、必ず作業標準を作成し、それに基づき作業を行いましょう。また、非定常作業についても、対応の仕方等を示した作業標準を作成しましょう。

2 「転倒」災害を防止しましょう！！

4 S（整理、整頓、清掃、清潔）活動を徹底しましょう

整理 必要な物と不要な物を分けて、不要な物を処分すること

整頓 必要な物をすぐ取り出せるように、分かりやすく安全な状態で配置すること

清掃 作業をする場所や身の回りのほか、廊下や共有スペースのゴミや汚れを取り除くこと。

清潔 整理・整頓・清掃を繰り返し、衛生面を確保し、快適な職場環境を維持すること。

「STOP！転倒災害プロジェクト」の取り組みを進めましょう
転倒危険場所の見える化をしましょう。

転倒災害は、休業日数が半年を超えるケースや、完治せずに障害が残るケースなどもありますので**転倒災害は決して軽い災害ではありません。**

3 「激突」災害を防止しましょう！！

「激突」による災害の防止

十分な広さの安全通路を確保しましょう。

メンテナンス作業では必ず保護帽を着用しましょう。

行動に移る前に周囲に気を配りましょう。